

学校評価結果公表シート

昭和学園

昭和学園は平成23年から『認定こども園』として歩んでいます。また、大人になる土台として健康教育、情操教育を目標に多種多様な保育の体験に取り組んでいます。時代の流れの中でもしっかりと地に足を付け更に『教育の質、向上』に向けて日々努力しています。毎年1回保護者からの評価アンケートを実施し、自己評価、外部評価との結果を踏まえて今後の教育・保育に役立てていきたいと思いません。

◆目指す幼児像◆

愛…思いやりのある優しい子ども

☆命の尊さを知り、友達の心の痛みが分かる子ども

夢…元気な子ども

☆早寝、早起き、朝ごはん心身共に健康で明るい子ども

未来…生き生きと表現する子ども

☆物事への興味や関心を持ち、自分で考え楽しく表現する子ども

◆教育目標◆

人間性豊かで心身共に健全な子どもの育成に努める。

清く（知的、理性的な子ども）

美しく（情操豊かな子ども）

たくましく（意思・体力のある子ども）

仲良く遊ぶ（思いやりのある子ども）

◆教育・保育方針◆

国家百年の人材の基礎は教育にあり、しかもその根源を培うものは、幼少年の教育にあることはいうまでもない。「三つ子の魂、百まで」との諺のように、幼児期は人格の形成期であり、その人の生涯の人格が決まる大切なこの期に良き環境と適切な指導により健康で美しい人材育成を目指す。

◆努力目標◆

生きる力の育成を根底にそれぞれの発達段階に応じたねらいを持ち、流れのある保育活動を行う。その中で、いろいろな経験や体験をすることで自ら考えて行動できる子ども、いろいろな事を心や身体で感じる心豊かな子どもの育成に努める。

項 目	評価	取 り 組 み 状 況
教育目標	A	園の教育目標に沿って、日々の保育や子ども達一人ひとりへの援助、関わりができるように計画し、話し合いをしている。姿勢を正しく、挨拶を元気するなど意識して声掛けをする。戸外遊びやマラソンに積極的に取り組み、体力作りを行なっている。姿勢を正しく、挨拶を元気にするなど意識して声かけをしている。戸外遊びやマラソンに積極的に取り組み、体力作りを行っている。教育目標に応じて担任同士、月案などのねらいを決め、ねらいに合わせて保育を行なっている。その状況をクラスだよりなど知らせ保護者に関心を持ってもらえるようにする。
情報発信	A	0.1 歳児は連絡ノートを毎日記入している。週日より、はなまる伝言板は毎週、園日より毎月配布している。週日より連絡ノートはわかりやすく要点が伝わるよう書き方を心がけている。はなまる伝言板を毎週1回更新する。週に一度週日よりとはなまる伝言板で連絡や様子知らせている。連絡ノートでの個人とやりとりも大切にしている。週日よりを全学年で合わせるようにし、間違いのないように気をつけている。保護者の連絡はノートにかけないときや怪我などあった場合、電話連絡をする。
危機管理	A	毎月避難訓練に参加している。(絵本・紙芝居・DVD 等も利用) 危ない場所での声かけ、安全な環境を整える。安全面での指導は絵本や紙芝居を使って積極的に行なっている。実際に外に出たときも気をつける場所について知らせている。防犯教室や避難訓練の他、保育室での取り扱いを行なっている。
基本的な生活習慣の育成	B	朝の挨拶、食事の挨拶を習慣づけている。本的生活習慣が身につくように繰り返し声をかけ指導している。クラスだよりを通して子どもたちの様子を知らせ、園と家庭両方で取り組むことができる様にしている。話の聞き方、座り方など園での指導を統一して、繋がりのある育成をしていく。
保等の状況	A	一人ひとりの発達、月齢、興味関心に応じて保育内容を考えて実践をしている。順番を守ること、おもちゃの貸し借りなどを通して「貸して。」「いいよ!」や「ありがとう。」と友達を思い合う気持ちを育てられるように関わり方を伝えている。一人ひとり発達段階が違うのでその子にあった声かけの仕方、指導を行うようにしている。子ども同士のトラブルでは必要に応じて保育者が間に入り、気持ちを伝えたり聞いたりして納得できるように配慮する。
園生活	A	人見知りをする月齢では信頼関係を築き、安心して過ごせるように配慮している。ひとり遊びから少しずつ遊びを広げて保育者や友達との関わりを増やしていき一緒に楽しめるようにする。また、保育者や友達に何か伝えたいことがあった場合はゆっくり話を聞いて認め、安心して頼れるような環境作りを心がけている。子どもの気持ちを受け止めて、安心できるような言葉かけや援助を心がける。また、子どもたちが、登園を楽しみにできるように保護者との連携を心がけている。
園行事	A	乳児でも行事に参加している。園行事では学年の保育者、クラスの保育者で打ち合わせや話し合いをし、安全にまた成功、目標達成に繋がれるように取り組んでいる。また、こども達には、期待や意欲が持てるように話をしている。行事の打ち合わせをしっかりと行い、子ども達が楽しめるような内容にする。また、行事が多い分年度当初から内容を考え、それに向けて日々の保育に取り入れている。
子育て支援	A	預かり保育の時間は、通常保育時間に気になったこと、保護者からの伝言などがあつたら、共通理解しその日の様子などを伝えられるようにしている。担当職員で季節ごとの制作活動を考えて楽しめる様にしている。
絵本読み聞かせ	A	保護者が絵本の読み聞かせを行っている。前日に読み聞かせで誰が来られるか話すことで子供たちもとても楽しみにしている。普段の集まりでの子供たちの様子も見てもらえたらと思い保育を進めている

A…十分に達成している

B…達成している

C…取り組みが不十分である

D…ほとんど取り組めていない